

三行の中に思いを込める

町PTAが募集した三行詩の受賞者を表彰



益城町賞を受賞し、表彰状を受け取る篠原さん

【益城町賞】※敬称略

おはよう ありがとう おやすみ
けんかしててもかならずつたえて
仲直り

篠原和奏(飯野小)

「行ってらっしゃい」「おかえりな
さい」「いただきます」

これさえあれば大丈夫！

あとはみーんなついてくる。笑顔
もいっぱいいてくる。

安永治樹(広安西小)

「いただきます」と手を合わせると
食卓を囲むみんなの顔がある

あたりまえで それがいい

滝川吉稀(益城中)

叱るばかりの親だった
君の笑顔 凛々しくも

共に成長感じる 卒業式

釜賀信利(小峯)

【益城町教育委員会賞】

三宮千佳(広安小)、山口侑叶(広
安小)、齋藤雄一(広崎4町内)

【益城町PTA連絡協議会賞】

酒見幸作(益城中央小)、村田あす
か(飯野小)、岡村ユーコ(馬水北)

思春期に学んでほしい

木山中学校でデートDVの講演会



親しみやすいシチュエーションで演じられた寸劇

上益城郡内5町の人権擁護委員
で構成されている熊本人権擁護委
員協議会上益城部会(井口誠一
会長)の男女共同参画社会推進委員
会の12人が12月18日、木山中学校
視聴覚室で人権教室を行いました。
人権教室では、同校3年生95人
の生徒を対象とし、結婚していな
い交際の男女間で起こる暴力、
いわゆる「デートDV」を題材に講
演。これから思春期を迎え、異性



寸劇の一部に盛り込まれた啓発ビデオ鑑賞

に興味を抱き始める中学生にぜひ
学んでもらいたいとの思いから、
委員みずからが登場する寸劇を啓
発用のビデオを交えながら、演じ
ました。

なじみある熊本弁の口調で行わ
れ、その日常的な雰囲気でもミカ
ルな寸劇に親近感が湧いた生徒た
ちは、時折白い歯をのぞかせなが
ら、興味深く聞き入り、拍手を
送っていました。

後日、生徒たちにアンケートを
実施。結果100%の生徒がほぼ
理解できたと回答していました。